

若者に対する転出入アンケート



若者に対する転出入アンケートについて

アンケート調査の概要

●目的

前橋市から転出・前橋市に転入した若者に対し、「雇用」、「所得」、「住宅環境」のニーズを把握するための本アンケートを実施することで、若者の定着促進に向けた効果的な施策を行うため実施するもの。

●調査期間

R6.9.17～R6.9.30（2週間）

●調査の対象

R5.4.1～R6.3.31の期間に

- ①前橋市から転出した18～39歳の男女 1,000名
- ②前橋市に転入した18～39歳の男女 1,000名

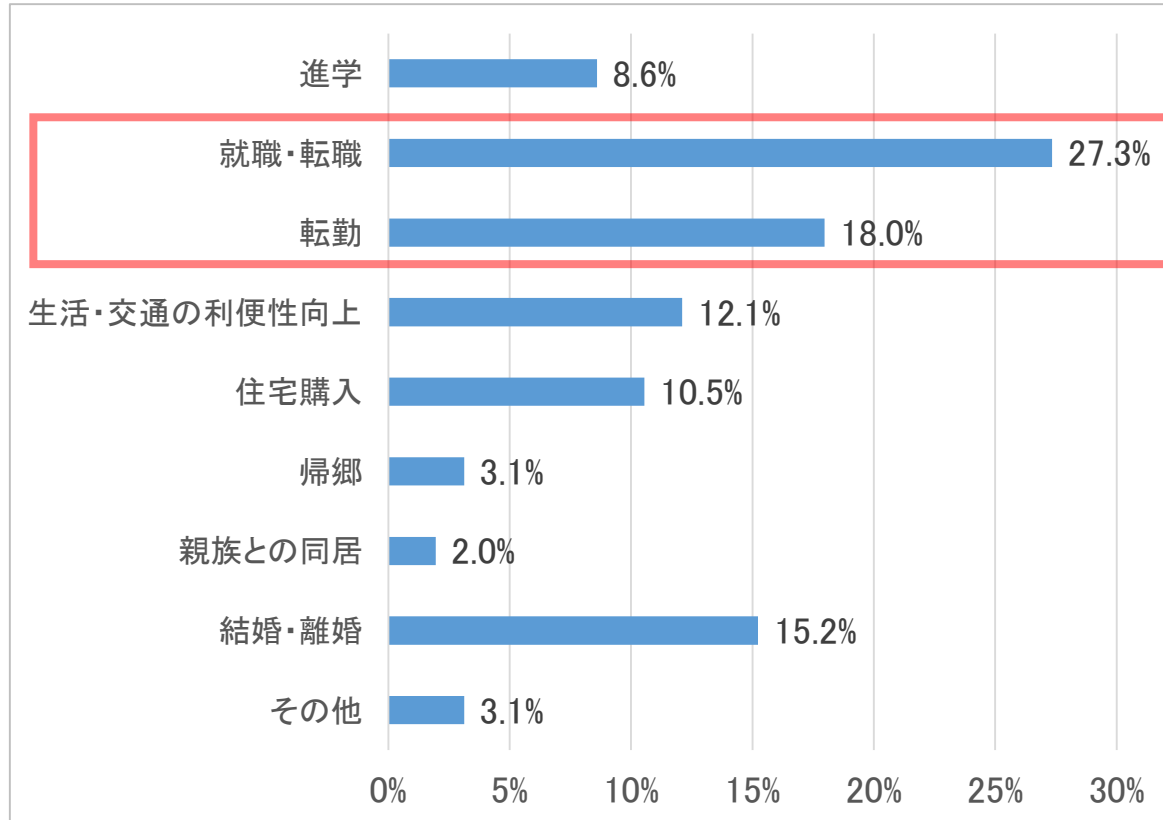
●回答数

	送付数	有効送付数※	回収数	回収率 回収数/有効送付数
転出	1,000	962	194	20.1%
転入	1,000	994	259	26.0%
合計	2,000	1,956	453	23.1%

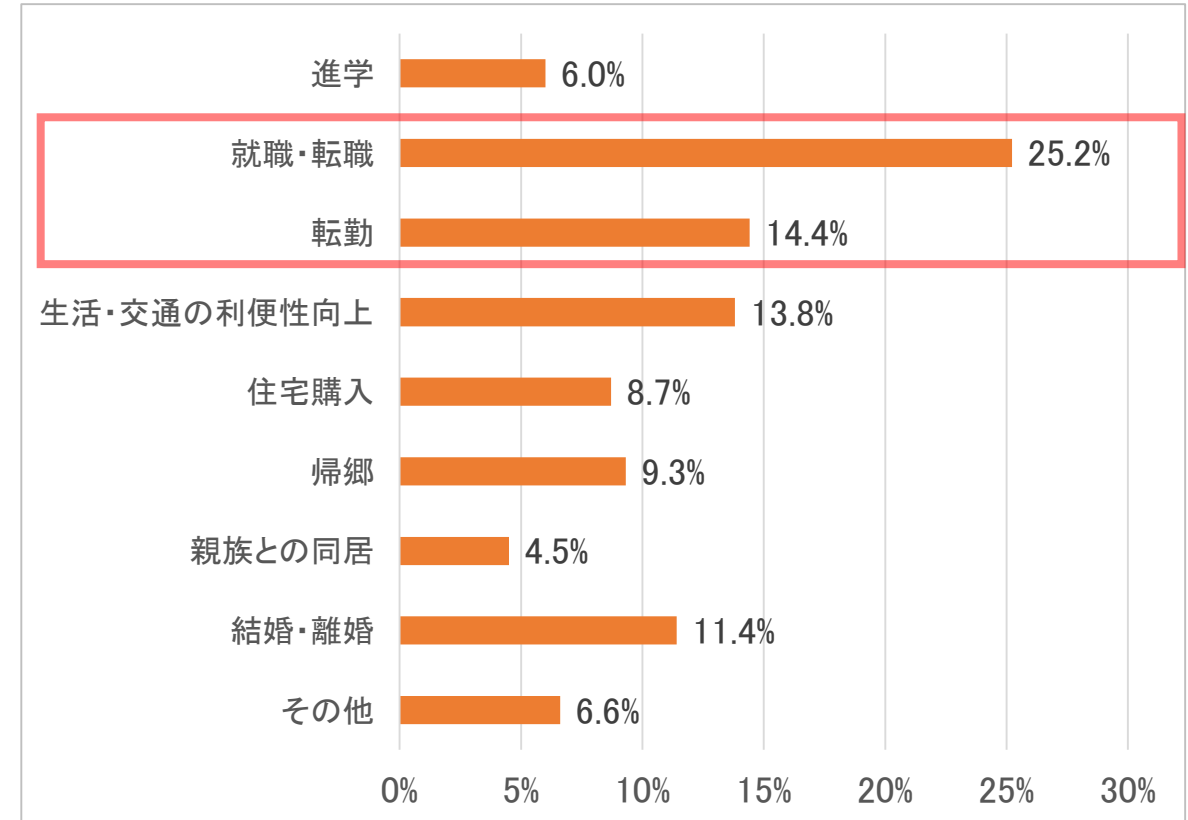
若者に対する転出入アンケート結果について

アンケート結果 転出・転入の理由

Q10 前橋市から転出した理由を教えてください（3つまで）



Q10 前橋市に転入した理由を教えてください（3つまで）

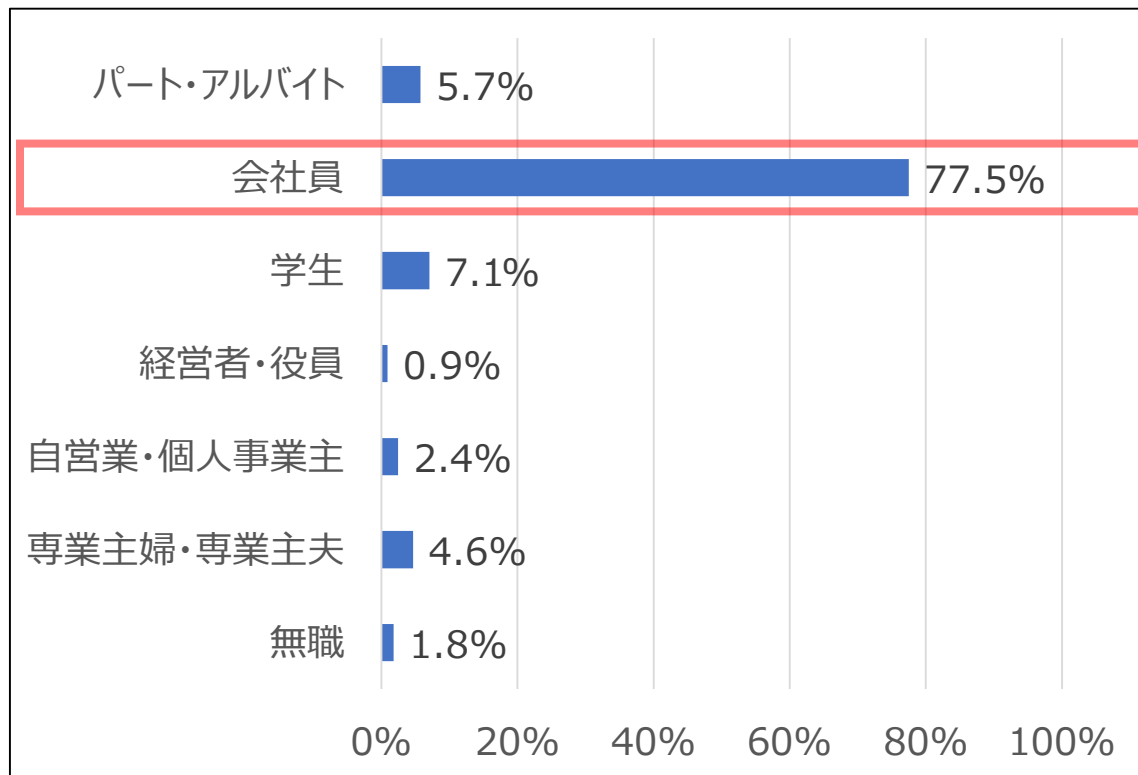


若者の転出・転入の理由は、「就職・転職」・「転勤」が最も多い
⇒勤務先に合わせて居住地が変化する若者が多い

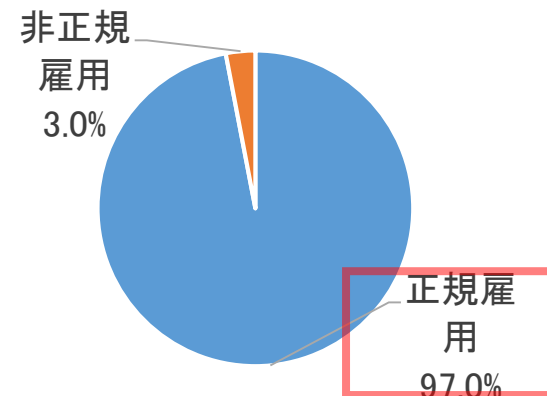
若者に対する転出入アンケート結果について

アンケート結果①雇用に関する若者のニーズ

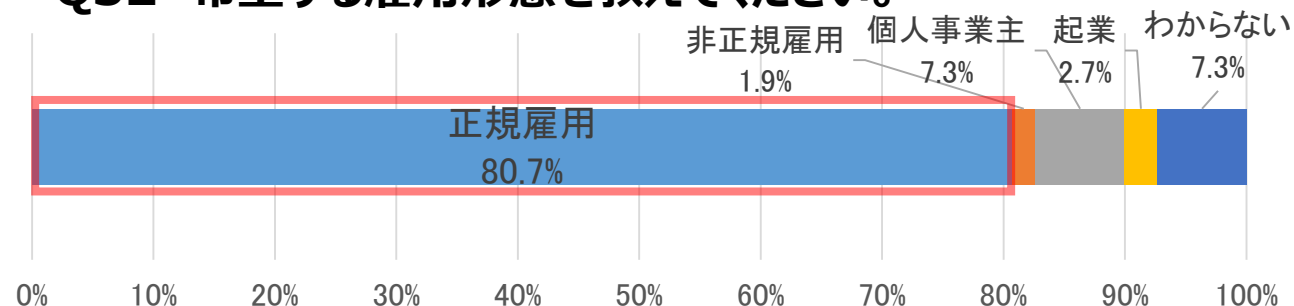
Q3 現在の職業を教えてください。



Q5 現在の雇用形態を教えてください。（会社員のみ）



Q32 希望する雇用形態を教えてください。

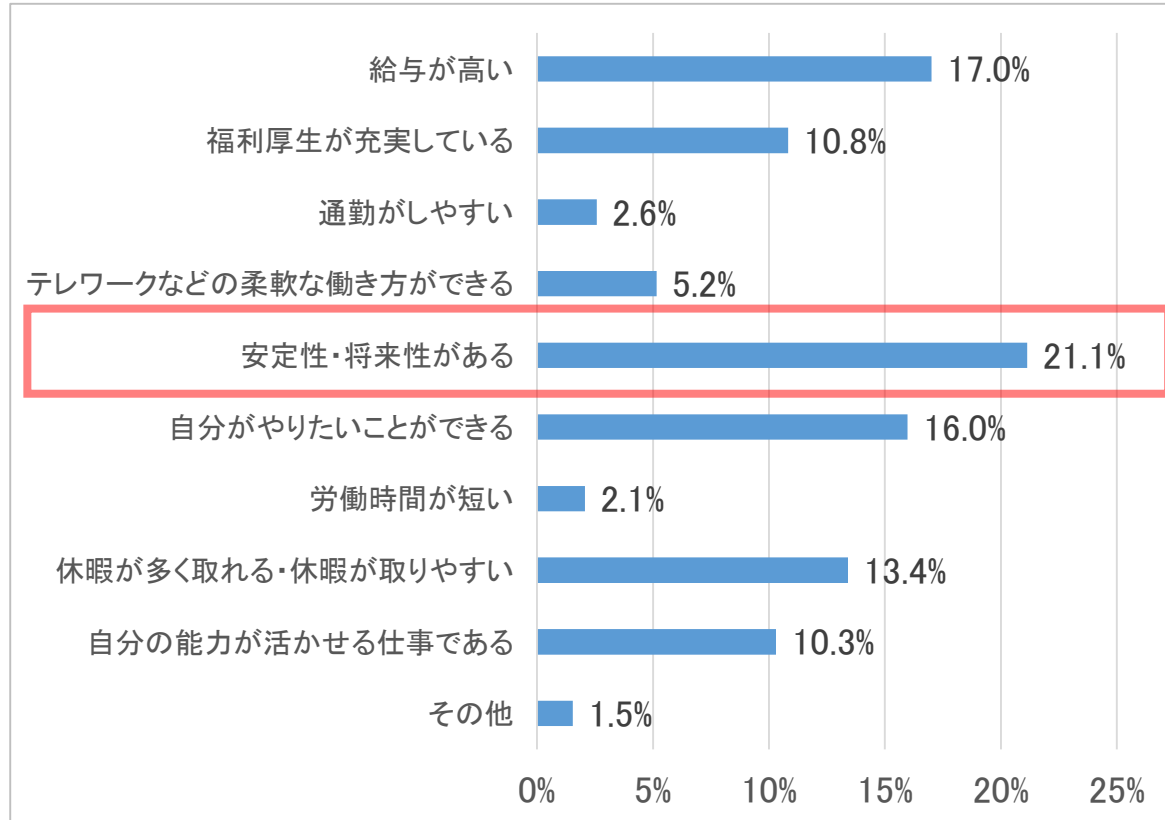


若者の職業は7割が「会社員」、そのうち9割が正規雇用に就いている
⇒雇用（正規）を希望する若者が多い

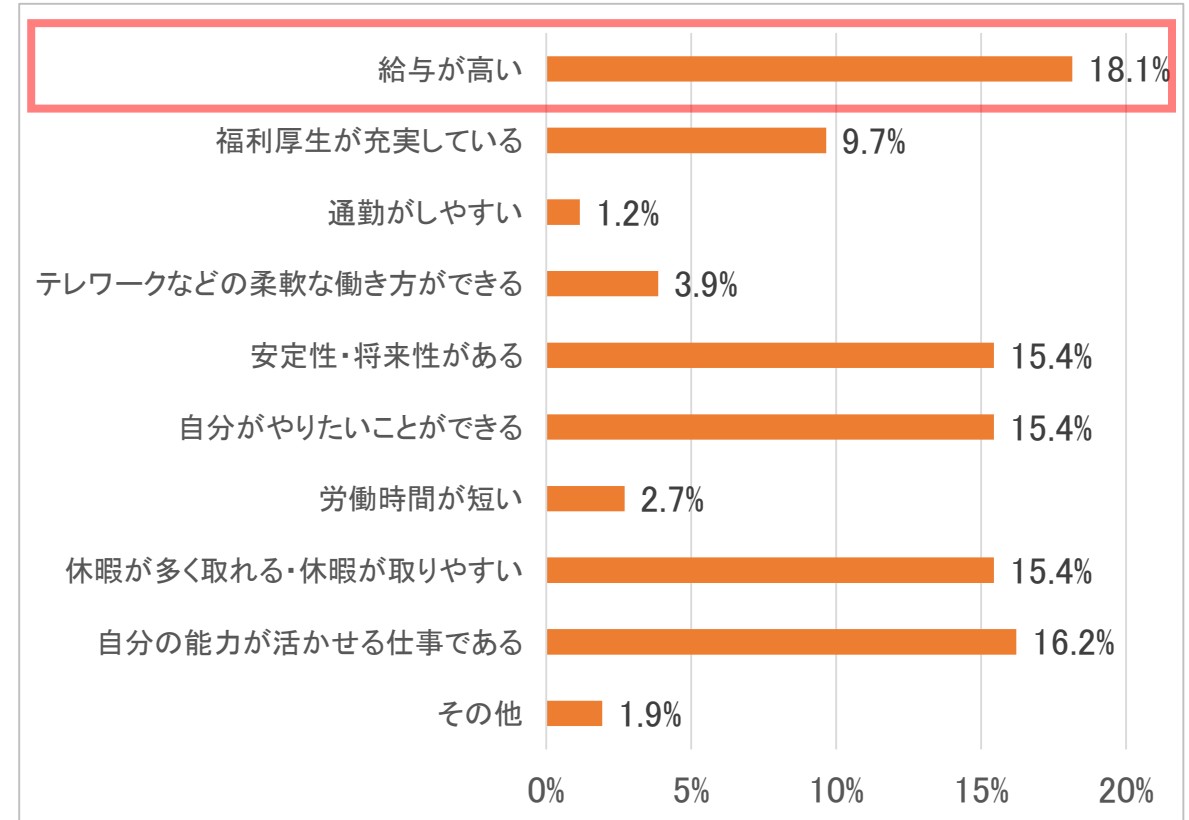
若者に対する転出入アンケート結果について

アンケート結果①雇用に関する若者のニーズ

Q34 働く上で重視すること【転出者のみ】



Q34 働く上で重視すること【転入者のみ】

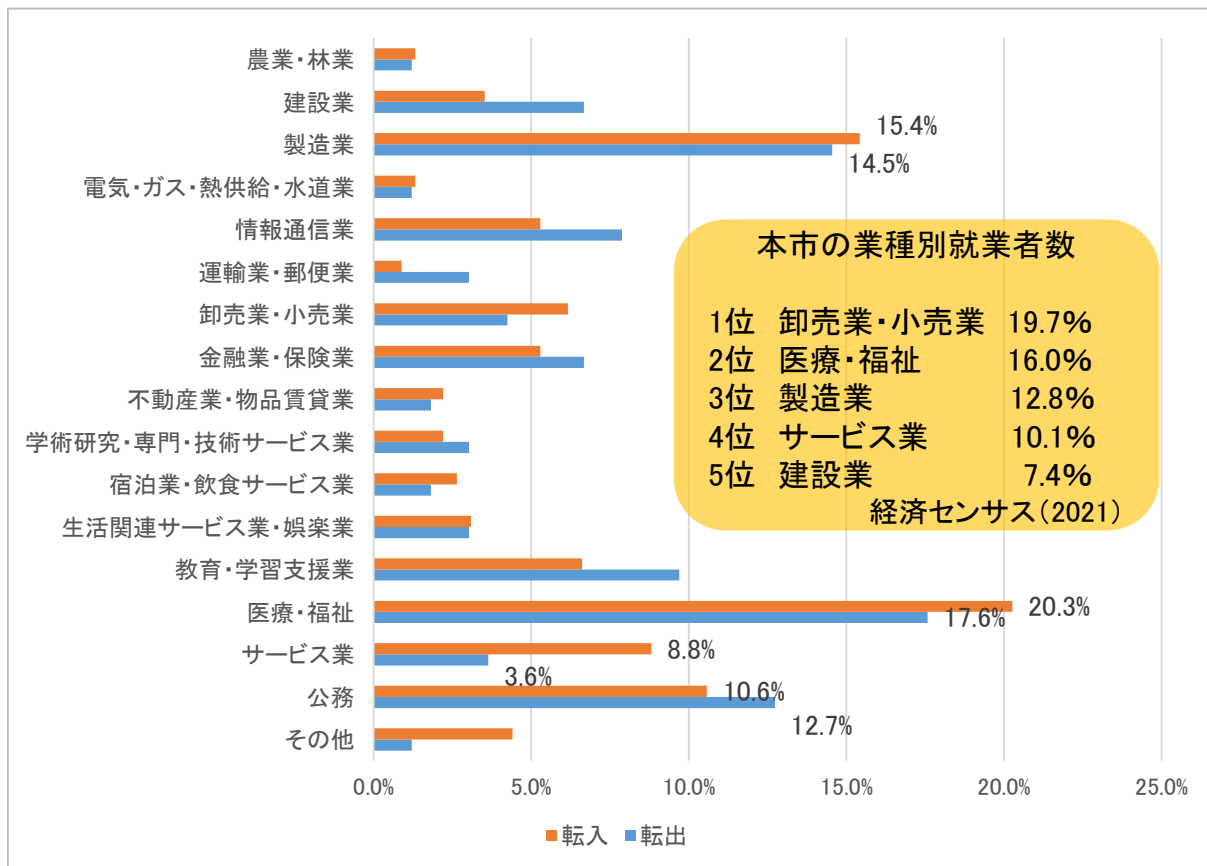


若者は、福利厚生や柔軟な働き方よりも安定性や給与面を重視
また、転出した若者は安定性、転入した若者は給与が最も多い

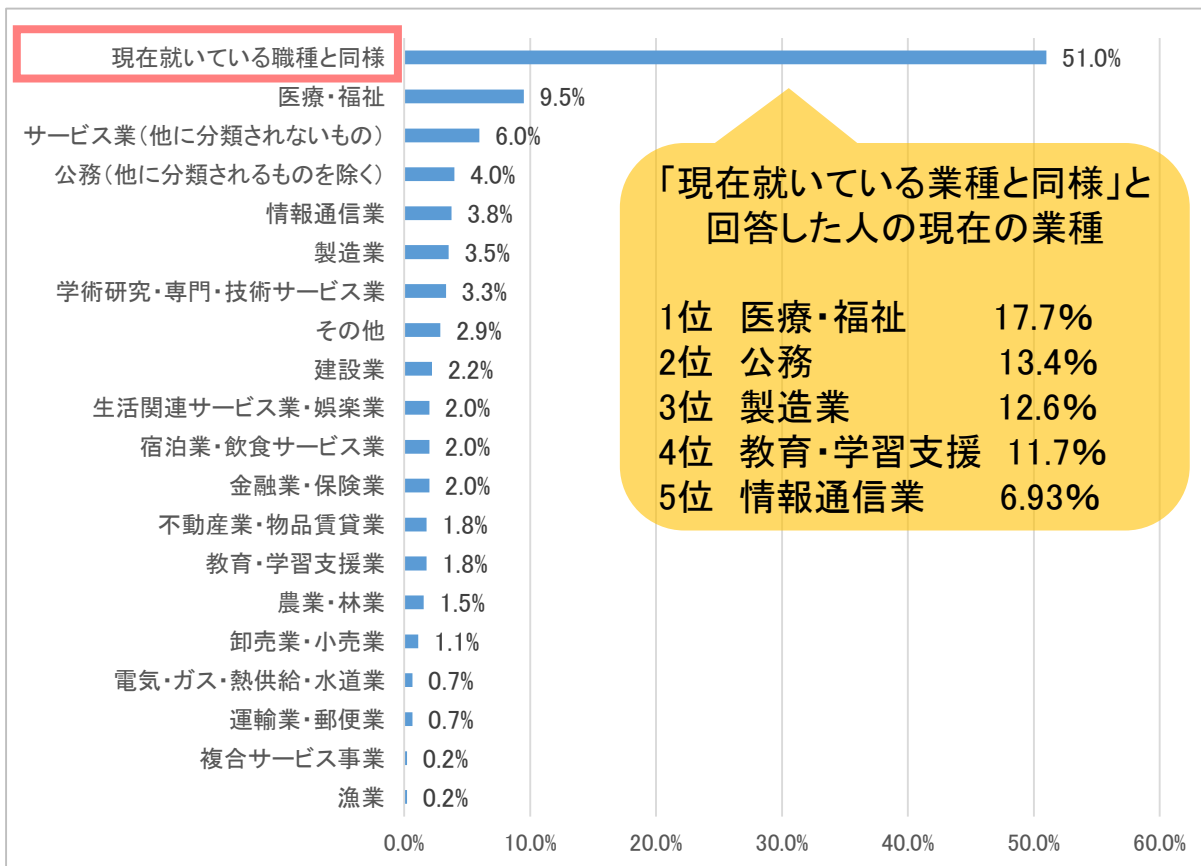
若者に対する転出入アンケート結果について

アンケート結果①雇用に関する若者のニーズ

Q4 現在の業種について教えてください。



Q33 希望する業種について教えてください。



転出・転入した若者は「医療・福祉」
の就業者が最も多い

半数以上の若者が希望する業種に
就いている

若者に対する転出入アンケート結果について

アンケート結果②所得に関する若者のニーズ

Q30 現在の年収を教えてください 及び Q31 生活を送る上で必要だと思う年収を教えてください の集計結果

		生活を送る上で必要だと思う収入										合計
		～200万	201～300万	301～400万	401～500万	501～600万	601～700万	701～800万	801～900万	901～1,000万	1,000万以上	
現在の収入	～200万	15	9	23	16	10	7	4	1	0	2	87
	201～300万	6	15	26	15	8	4	0	0	0	3	77
	301～400万	0	8	28	35	26	10	0	1	0	4	112
	401～500万	1	1	8	19	23	17	6	0	0	5	80
	501～600万	0	2	3	9	20	6	6	3	2	1	52
	601～700万	0	0	1	3	7	3	2	1	0	2	19
	701～800万	0	0	0	1	0	2	2	1	0	1	7
	801～900万	0	0	0	0	1	0	0	3	1	1	6
	901～1,000万	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	5
	1,000万以上	0	0	0	2	1	0	1	3	1	0	8
合計		22	36	89	100	98	49	21	13	5	20	453

453人中283人
全体の62.4%

若者の6割が生活を送る上で必要だと思う収入を得られていない。

若者に対する転出入アンケート結果について

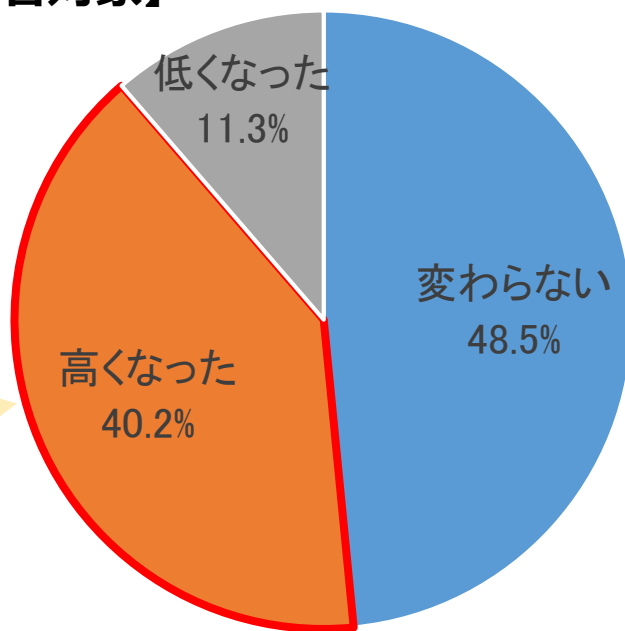
アンケート結果②所得に関する若者のニーズ

Q35現在の年収は、
前橋市にいるときよりも高くなりましたか。

【転出者対象】

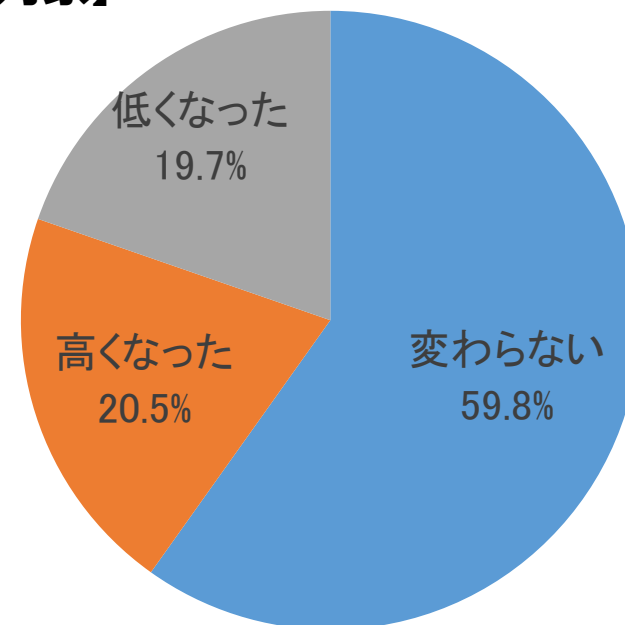
「高くなった」と回答した人の
転出先の内訳
県外85%・県内15%

県外への転出先の内訳
1位 東京都 (35.8%)
2位 埼玉県 (17.9%)
3位 千葉県 (7%)
神奈川県 (7%)



Q35前橋市に住んだ後の年収は、
以前よりも高くなりましたか。

【転入者対象】

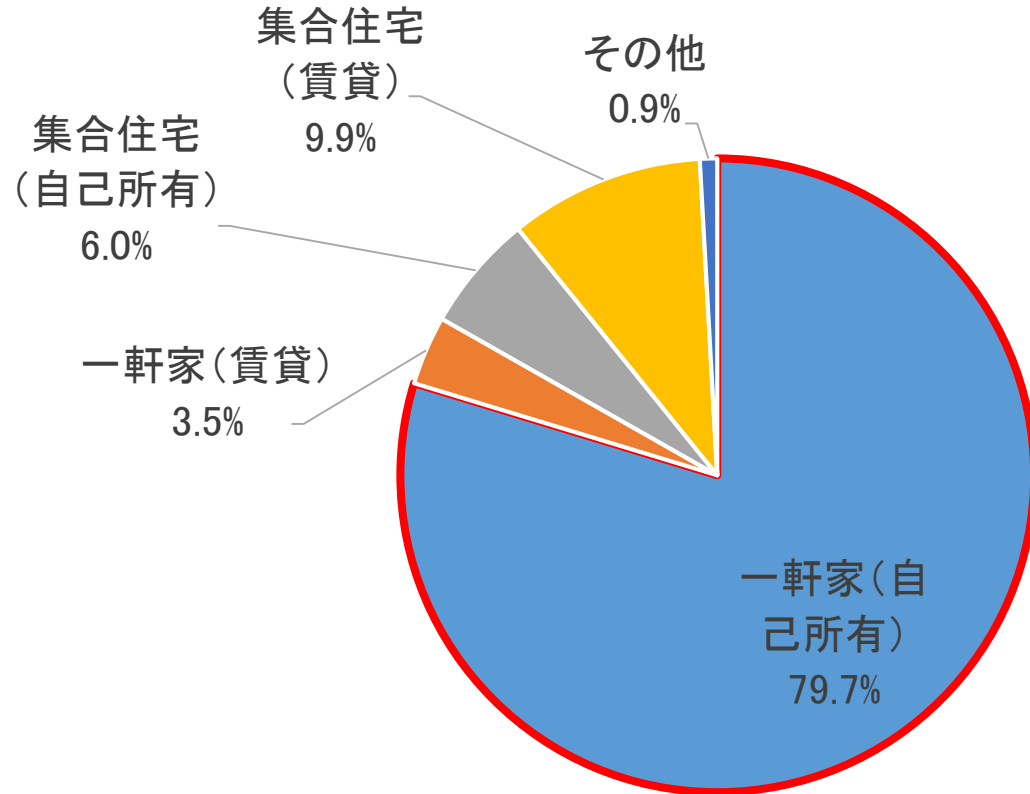


転出した若者の4割が年収増、転入した若者は2割が年収減少
⇒首都圏へ転出により収入を増加させる若者が多い

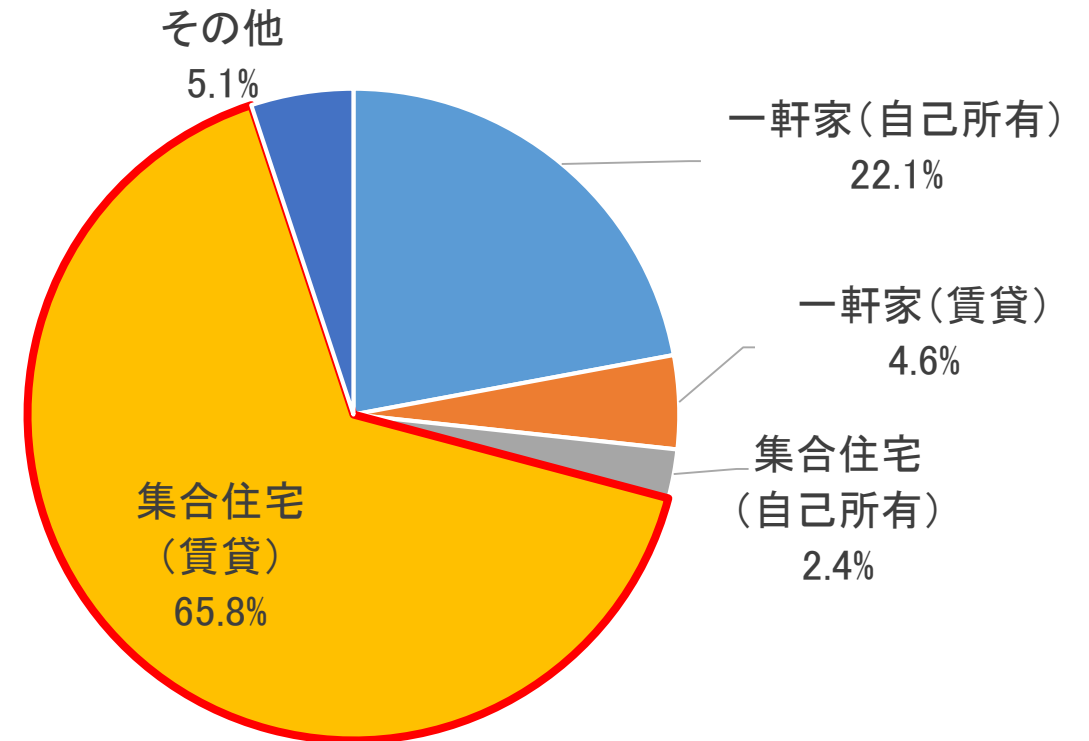
若者に対する転出入アンケート結果について

アンケート結果③住宅環境に関する若者のニーズ

Q25 理想とする住宅はどれですか。



Q29 現在住んでいる住宅について教えてください。

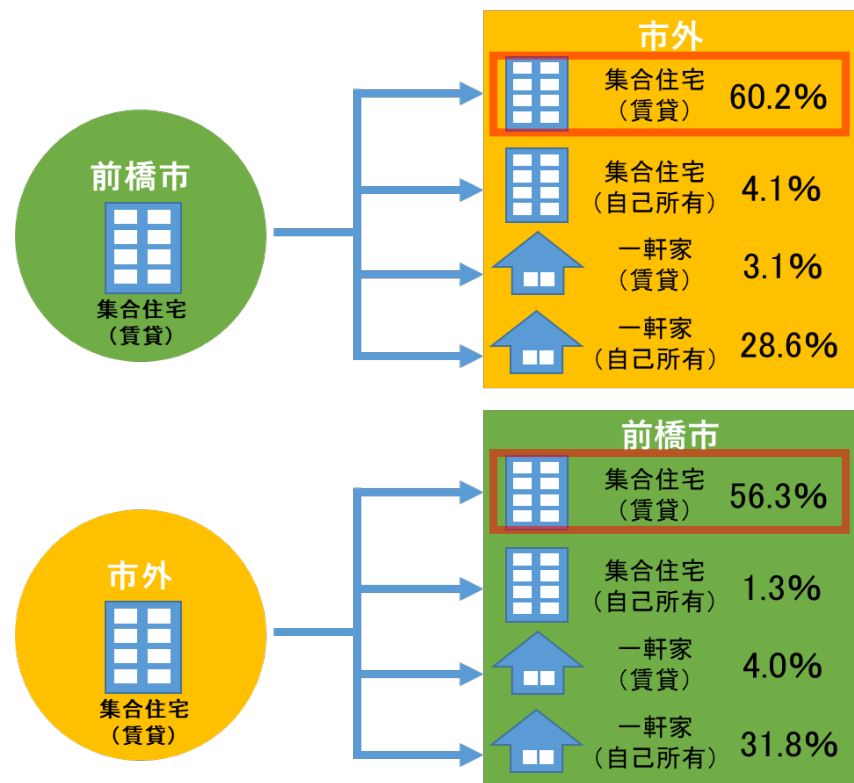


若者にとってマイホームの希望は強いが、
実際の住宅は集合住宅(賃貸)が最も多く、一軒家(自己所有)は2割

若者に対する転出入アンケート結果について

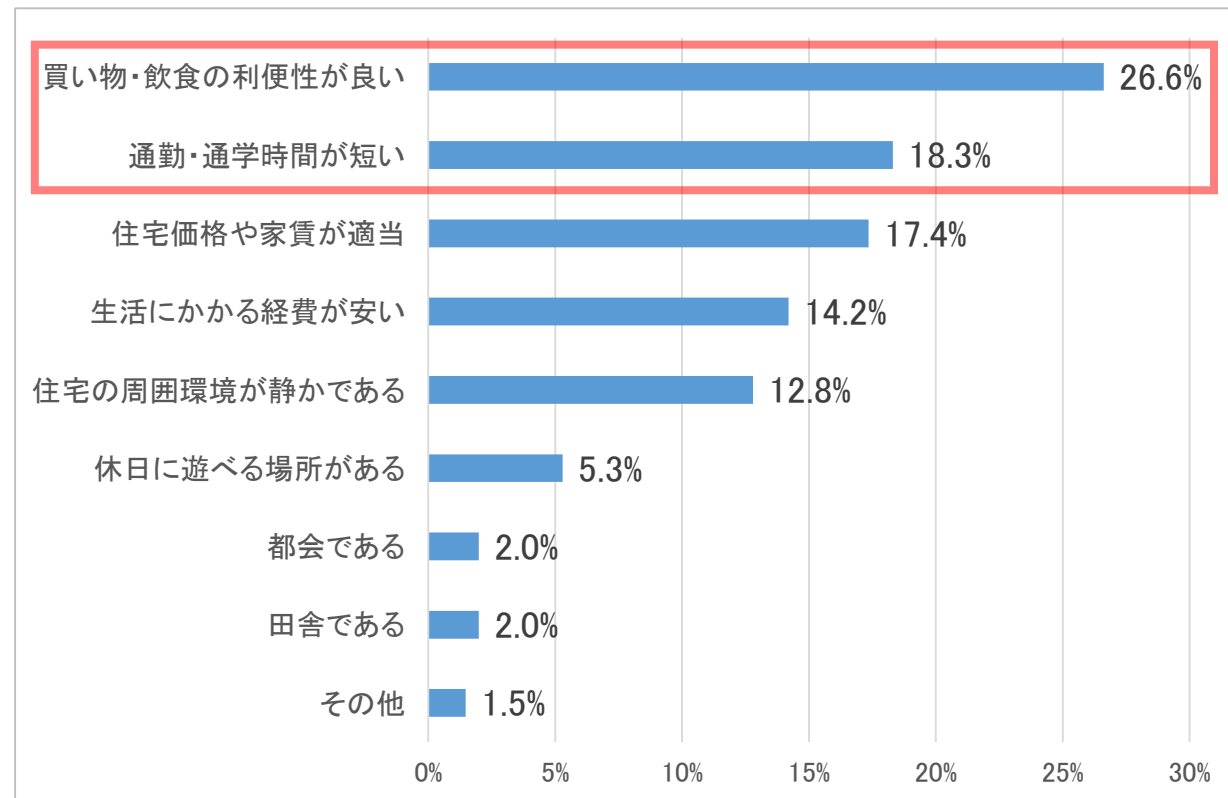
アンケート結果③住宅環境に関する若者のニーズ

転出入前が住宅が「集合住宅（賃貸）」と回答した
若者の転出入後の住宅について



マイホームの希望を持つ若者は多いが、実態としては
転出・転入後も変わらず集合住宅に住む若者が多い

Q29 居住地に対して重視することを教えてください。（2つまで）



住宅価格や家賃の安さより日常の買い物・通勤に便利な
地域が選ばれている
→住宅コストが低い郊外よりも利便性が高い市街地にニーズ

若者に対する転出入アンケート結果について

アンケート結果から見えた本市が取り組むべき課題

1. 就職・雇用環境の充実

- ① 転入・転出の理由→「**就職・転職**」「**転勤**」4割以上
- ② 働く上で重視すること→柔軟な働き以上に**長く働ける安定性**や**給与面を重視**
- ③ 年収が高くなった→転出者は**40.2%**だが、転入者は**20.5%**
- ④ 現在の年収と必要だと思う収入→若者の**6割以上**が生活に余裕が持てる収入を得られていない

課題に関連する本市の取組

- ・ジョブセンター
- ・創業センター
- ・産業団地造成
- ・企業誘致

若年層が求める「仕事・給料」が実現できる就職支援や企業誘致が必要

2. 住宅取得に関する支援

- ① 現在住んでいる住宅→「**集合住宅（賃貸）**」が**約6割**
- ② 理想とする住宅→「**一軒家（自己所有）**」が**約8割**
- ③ 居住地に対して重視すること→**日常の便利さを重視**

課題に関連する本市の取組

- ・移住支援金
- ・空き家バンク
- ・空き家活用リフォーム
- ・居住誘導区域への誘導

住宅施策の推進による若年層へのアプローチが必要